

■ 子どもの貧困対策推進計画について

質問 **子どもの貧困対策に教師増員は**

町 ▶ 県の追加配置事業を活用している



▲動画配信が見られます



おのようこ
小野曜子

問 子どもの貧困対策で、義務教育段階における支援についての教職員アンケートでは「教職員の追加配置」が挙げられたが、教師及び指導助手などの増員の計画は。

問 指導助手を増員することは町独自の財政で実現できる。町は指導助手の配置で現場の負担を減らしたいと考えていると聞いているが、県の補助員配置である「スクールサポートスタッフ」を町が雇い続ける考えは。

答 [学校教育課長]
教師は、県教育委員会の小中学校非常勤講師配置事業を既に活用しており、引き続き要請したい。指導助手については、限られた予算の中で適切な配置に努めており、現時点で増員する予定はない。

答 [学校教育課長]
町独自の雇用は考えていない。「スクールサポートスタッフ」は新年度も規模は縮小されるものの継続して事業は行われる。



■ 男女共同参画計画の推進について

質問 **町の女性管理職育成計画は**

町 ▶ 令和4年度に見直し

問 町の課長、局長、主幹と言われる管理職の女性登用率は6.7%であり、低水準であるが今後女性の登用を増やす考えは。

問 町の女性管理職育成計画は。

答 [副町長]
国が示す管理職は、課長や局長それに相当職である主幹で、割合は2019年は6.7%だが2021年には19.5%まで向上している。今後、管理職への女性の登用は、個人の資質の向上を図ると共に能力に応じたものとしていきたい。

答 [総務課長]
町の計画の最新版は平成28年のもので20%以上を目標としている。一方、国の男女共同参画基本計画における目標値は令和7年度までに女性管理職の割合が22%としている。町の計画の目標年度と、ずれが生じており、令和4年度に計画を見直す。



辞令交付式の様子



令和4年 第2回定例会 傍聴者アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。

皆様のご意見を議会活動に反映するよう努めます。

アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。



◀他のご意見等は
こちらから



アンケート回収日	傍聴者数	回答者数	回収率
2/24～3/14	9人	4人	44.4%

意見

町議会を傍聴して気づいた点、ご意見をいただきました

回答

議員はかなり積極的に考え、提案、町の考えについて言っておりましたが、町の方の返答は、今の立ち位置から一歩踏み出す考えはあまり聞くことができなかったように思う。

町からより良い返答が得られるように、質問の仕方を工夫するよう心掛けます。

コロナ感染対策も十分とられているので、安心して傍聴できました。議員さんを半分に制限しなくても大丈夫な感じがしました。

感染防止のため、支障のない範囲で対応しました。議場に入らなかった議員は、別室でオンライン中継により参加しています。

町議会全般について、ご意見をいただきました

那須町は、これまで通りを少しでも超えていくことが必要だと思いますので、議員さんは町を出て積極的に他市町村と意見交換をし学んでいただきたい。

コロナ感染症のため、他市町村との意見交換は十分にできていませんが、必要なことは他市町村に問い合わせをしたり、ネット等を使い調査を行っています。議会基本条例の見直しの際は、先進議会の方に講演をいただき、意見交換をしております。

町を考えている方向、計画etc...が知ることが出来、大変参考になった。議員は最後に「ありがとうございました」...を言うべきではないか。

議員、執行部共に町をよくするためにどうしたらよいかを対等な立場で質問・答弁を行っており、町議会では、議会先例申し合わせによりお礼の言葉は発言しないこととしています。

傍聴者が少ない。平山町長（今期）最後の議会なのですが、町民の行政議会への関心が薄れている。町民と積極的な対話をするよう開けた町政を願います。

傍聴者が少ないのは残念ですが、コロナ感染症のため、積極的に傍聴参加の呼びかけはしていません。町民との積極的な対話については、町民との意見交換会の他に、重要課題に関しては関係者との意見交換を積極的に行っています。

安心安全な町づくり、住民が住みやすく、活躍できる町づくりの為に、より活発な議会であることを望みます。

町のためにどうしたらよいか、委員会等で討議し、提言につなげるようにしています。1期、2期の議員構成ですが、活発な議会に変わってきています。更に活発な議会になるように努めていきます。